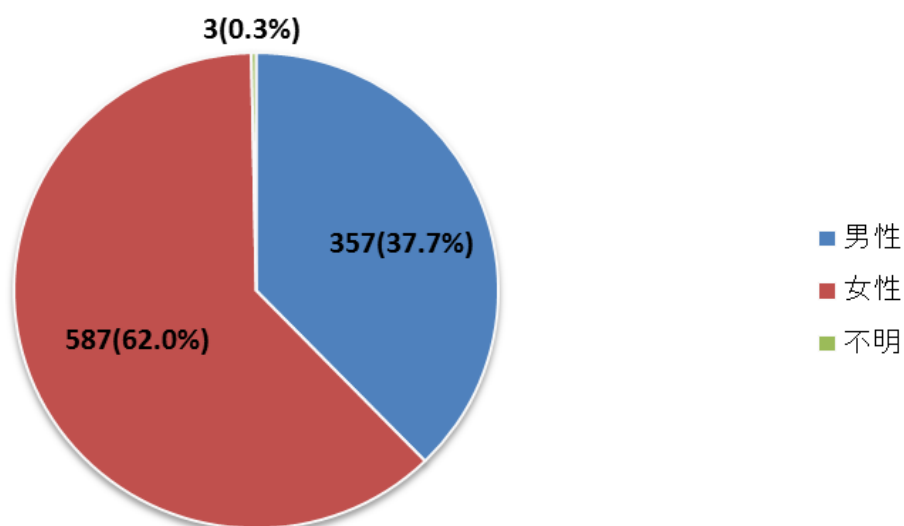


第15回eモニターアンケート「多文化共生について」

実施期間
回答数

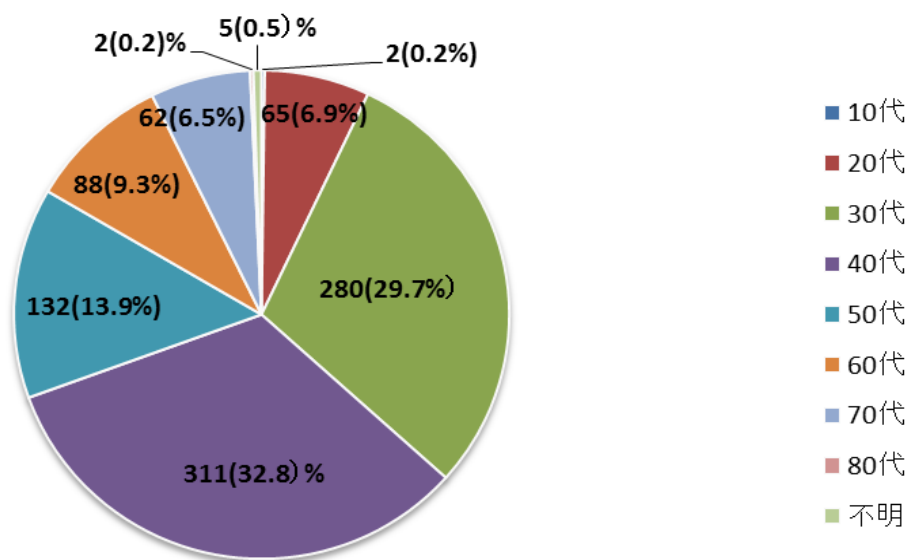
平成28年2月19日 ～ 平成28年2月28日
947 人

男女別割合



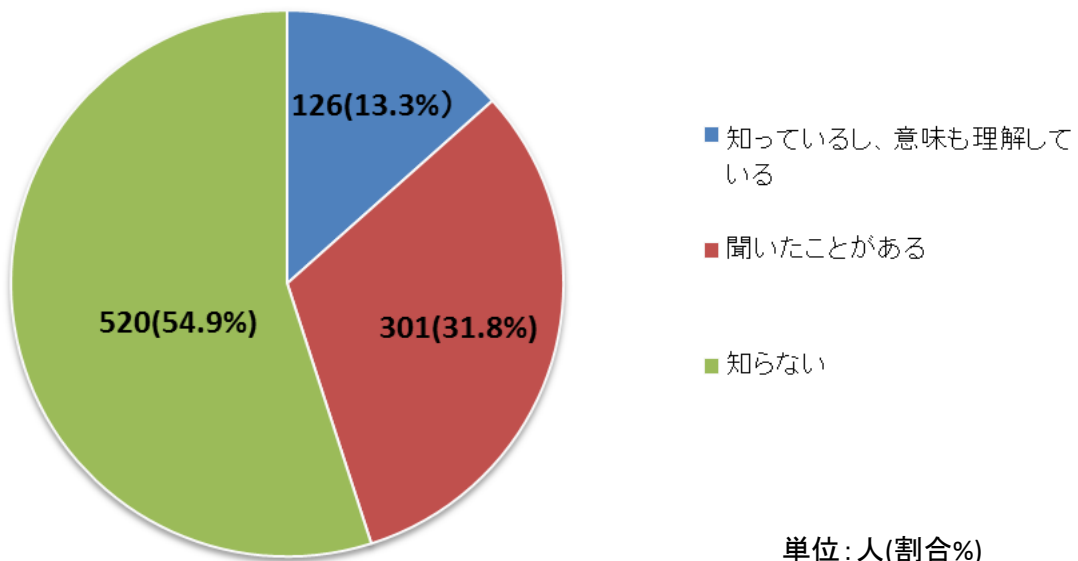
単位: 人(割合%)

世代別割合

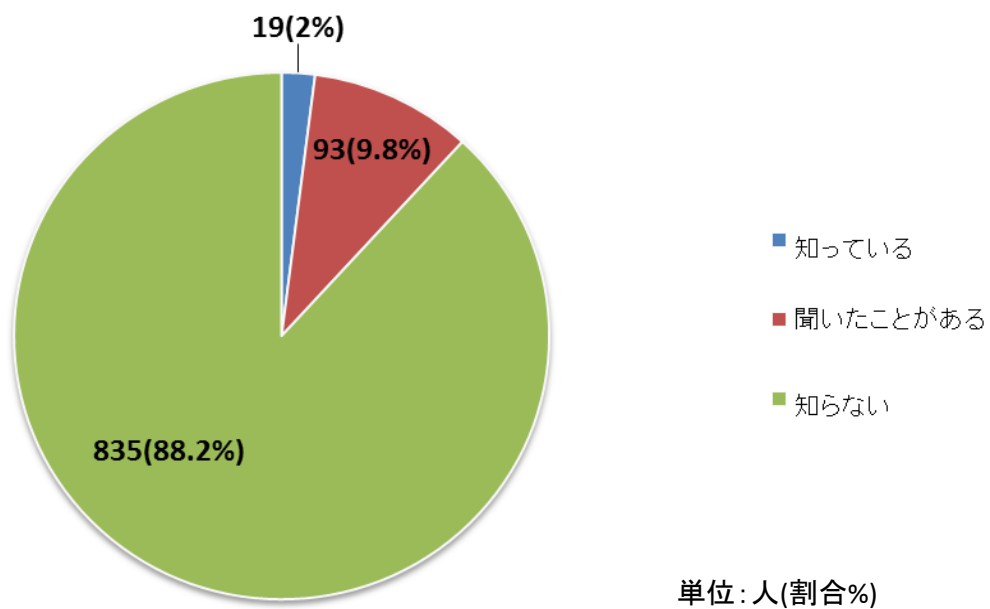


単位: 人(割合%)

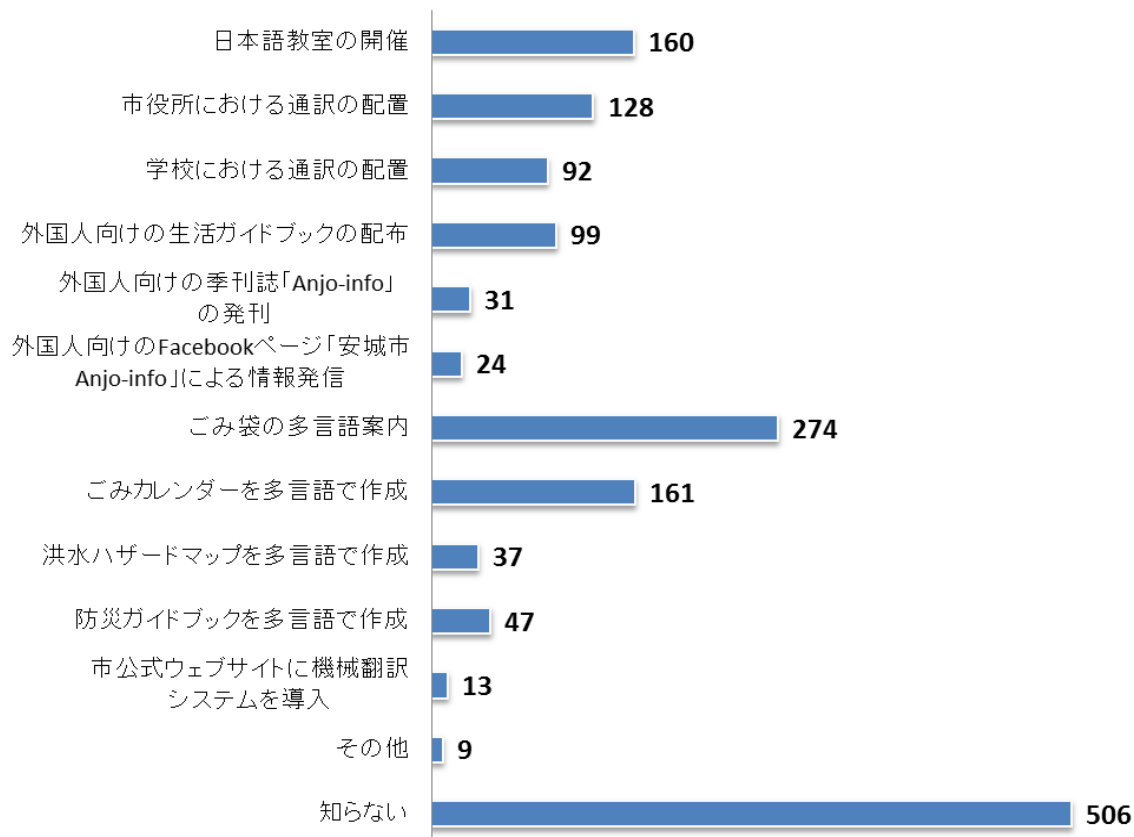
問1:「多文化共生」について知っていますか



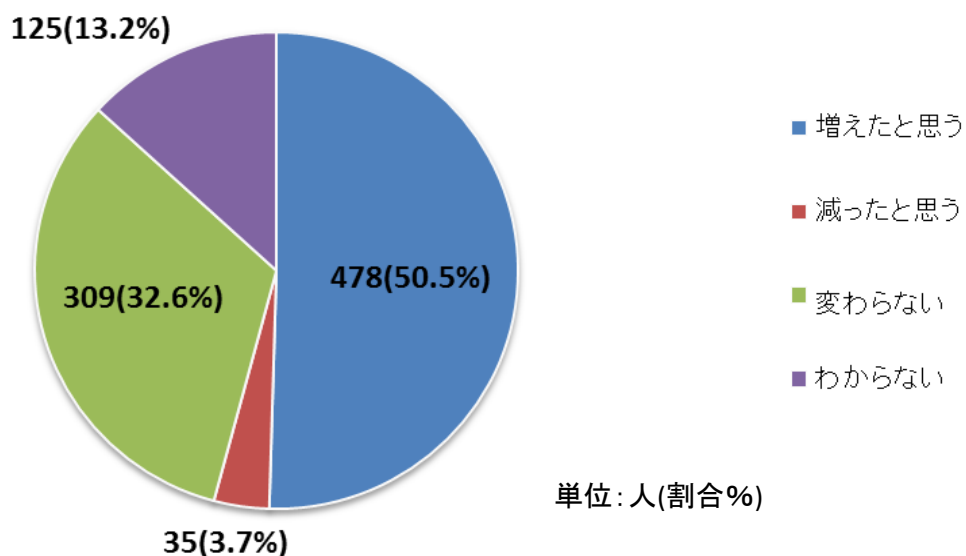
問2:「安城市多文化共生プラン」について知っていますか



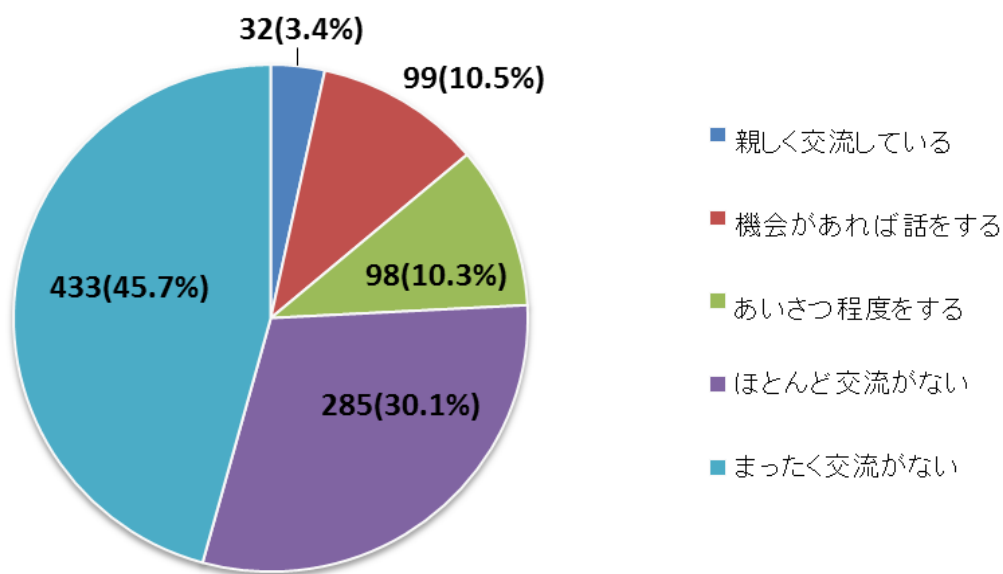
問3: 安城市の「多文化共生」に対する取組について 知っているものを教えてください(複数回答可)



問4: 最近、あなたのまわりに外国人住民が増えてきたと思いますか



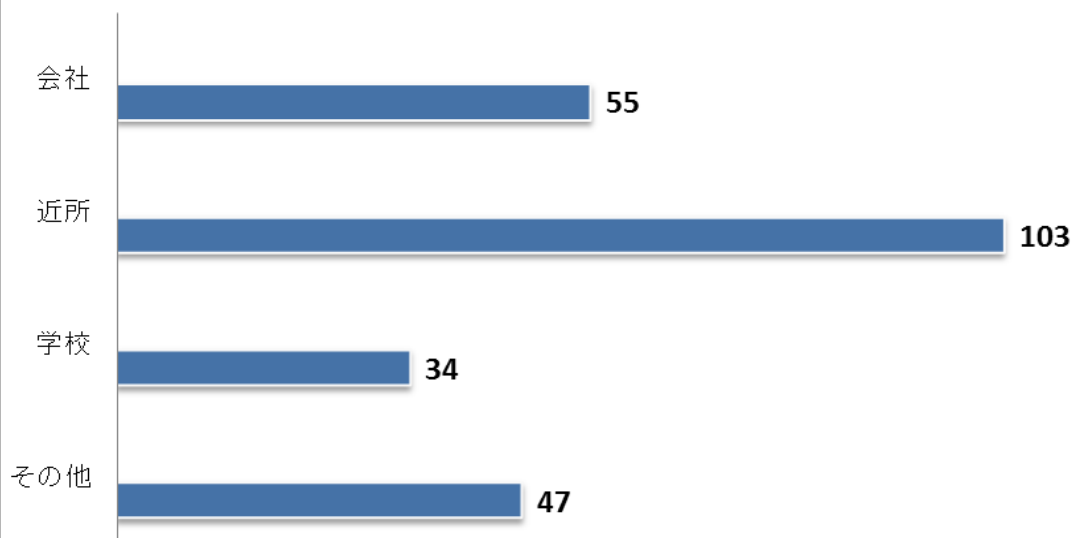
問5: 日ごろ、外国人住民と交流していますか



単位: 人(割合%)

問6: どこで交流等をしていますか

(問5で「親しく交流している」「機会があれば話をする」「あいさつ程度をする」と回答された方にお聞きます)

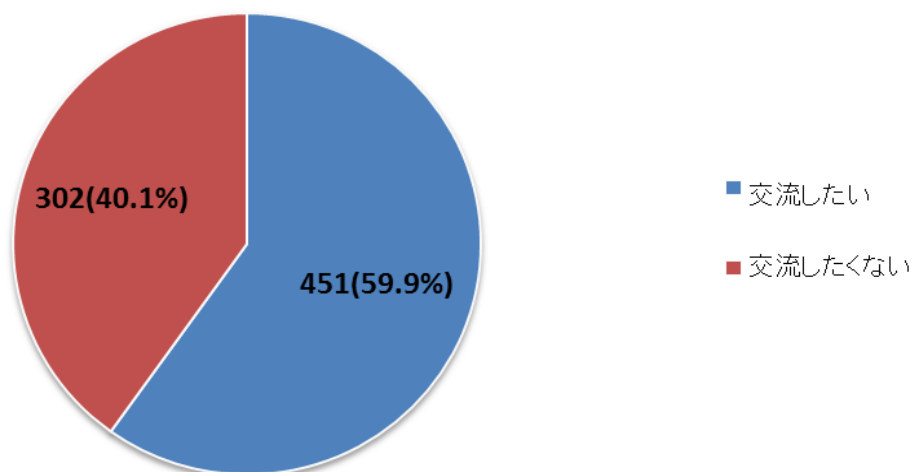


問7: 前問の「その他」とは、具体的にどこですか

- ・日本語教室ボランティア
- ・子供の友達の親
- ・福祉センター
- ・ボランティア
- ・よく行くレストランのスタッフが外国人
- ・道でのすれ違い時
- ・職場(病院)に来られる患者さんと話します
- ・相手の家
- ・見守り等で顔を見たとき
- ・地域で
- ・子どもの保育園や学校
- ・市スポーツセンター
- ・友人宅
- ・病院
- ・飲み屋
- ・マンション
- ・個人英語教室や以前住んでいた土地での友達
- ・ランニングですれ違うときに挨拶している
- ・近隣市での多文化共生活動
- ・習い事
- ・親戚、知人の息子さんのパートナー
- ・文化センター
- ・トレーニングジム

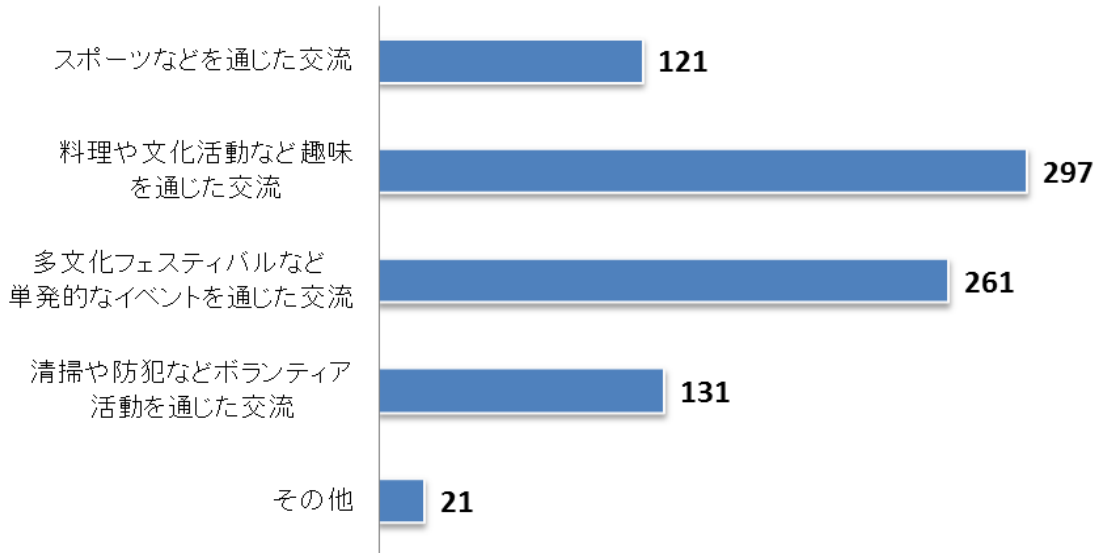
問8: 外国人住民と交流したいと思いますか

(問5で「ほとんど交流がない」「まったく交流がない」と回答された方にお聞きします)



問9:どんな交流をしたいと思いますか(複数回答可)

(問8で「交流したい」と回答された方にお聞きします)



問10:日本人住民と外国人住民が共に地域で生活する上で必要だと思ふことがありましたらご記入ください

・海外生活をした経験がありますが、習慣やマナーの違いに戸惑いました。外国人の方の中で、リーダー的な方がいると思いますので、その方と市や町内会が連携して、安城市を知って頂いたら良いと思います

・言葉、風習の壁を取り除く
 ・近くで交流の場が無い。あれば会話すると思います
 ・日本語学習教室
 ・お互いを尊重し合うこと。挨拶をしたり、地域行事等でコミュニケーションをとること。困っていそうな時には日本人の方から声をかけてあげること

・優しい心
 ・法律、条令の遵守
 ・町内で、無灯火の自転車に乗る中国人らしき住民（寮のようなところに住んでいるようです）を見かけます。交通ルール等、外国の人達にも周知徹底出来るように
 ・親切な対応すること

・お互いがお互いの事(文化や生活)を知る事。助け合う事

・外国人に日本の慣習を理解してもらうサポート

・お互いに コミュニケーションできる機会を設けること

・生活、学校などで困っている人を助ける活動をしたい

・お互いの理解。他国の人が助けて欲しい時に助けられる環境作り。日本のルールの発信

・音楽を通じて交流

・多文化共生に異論は無いが、身近で接することが無い

・外国人に対する偏見をなくすこと。自分の親を見て高齢者は偏見があるように思う

・みんな同じ人として手を取り合い生活したい

・言葉、文化の違いなど異文化交流、交換会の情報提供

・会話 お互いを知り理解し合う

・近くにブラジル食料品店があり、多くの外国人が買い物にきています。近くに30分無料のコインパーキングが空いていても路上駐車がひどく、車がすれ違えない事もあります。一人一人は良い人で、子供に「かわいいね」と声をかけてくれたりするのに、迷惑駐車にはとても困っています。日本のルールを覚えてほしいです

- ・言葉、コミュニケーション
- ・中国の人と仕事しています。中国人のイメージはすこぶる悪かったのに、個人的な付き合いをすると大変いい人でした。ニュースをみて中国全体を悪く感じていましたが大変な誤解がありました。身近に接すると学ぶことも多く、努力家で仕事も丁寧で驚きます
- ・どこの国でも食べることであれば言葉の壁はないので、地域の公民館などで食を通じた交流イベントなどがあると親しみがわくと思う
- ・国によって人の考えはそれぞれ違うので、それをお互いに認め合うことが大事である。絶対に自分が正しい、と頑固になってはいけない
- ・公共機関の他言語。イベント(七夕など)で住んでる外国の方の文化や食事紹介
- ・外国人の子供も多く在籍している学校ですが親同士の交流がないので、学校内で交流できる機会があれば良いと思います
- ・最低限のマナー(ごみ出し、騒音、交通)を守ってほしい
- ・挨拶は大事ですが日本語が話せないとなかなか話かけづらいので、私たちが少しでも相手国の言葉が分かるといいですね
- ・あえて外国人住民に特化して交流する機会を設ける必要はないのでは？そもそも近隣の住人(日本人)と交流する機会も殆どないです
- ・セキュリティの強化
- ・どんな国籍・文化・宗教の方でも差別しませんが、日本に住む以上は日本人として法律に従える方以外は絶対受け容れるべきではない
- ・生活習慣の違いを理解しあう。夜の野外での集い(バーベキュー等)自粛など
- ・総合福祉センターや新築移転される図書館で、交流スペースを設ける
- ・交流会の企画と参加
- ・英語力が必要
- ・外国人が日本語を覚えていただく。防犯やルールを守ってもらいたい
- ・他国の文化や習慣、食事、宗教について、知っておくことが必要
- ・組ごとの溝掃除、ごみ出しルールの順守
- ・まずは挨拶から
- ・お互いの文化、風習、宗教を尊重しあうことも大切であるが、日本人としてゆずれないこともはっきりとさせて、外国人の方に理解していただく事も大切である
- ・災害時の支援
- ・相互信頼と尊重
- ・価値観
- ・日本人も、外国語を話せるようになること
- ・避難訓練など災害時の講習会。文化交流会
- ・会社に行っていた時は、仕事柄「日系ブラジル人」の受け入れ・入管手続き等、行っていたので、常に交流していたが、退職してからは全く接点が無くなった。特に忌避している訳ではないが、積極的に関わりたいとも思わない
- ・会社にいる外国人を見ていると、マナーが悪い等する外国人はごく一部だと思う。そういう人達を行政でしっかりと指導してもらえればこちらも受け入れやすく
- ・お互いのお国柄、生活習慣などを理解する
- ・子供たちが英語を身近に感じられるような交流
- ・公共の場所の多言語表記
- ・英語や文化を安い料金で学べる講座があるといいなと思います
- ・共通話題の提供(コミュニケーション)
- ・マナーとモラルの遵守
- ・外国人の方が得意なこと(例えば会話とか)を日本人側が学べる場を作ったりして外国の方は怖くないしというイメージを持ち、交流できる雰囲気を作る
- ・お互いにコミュニケーションがとれて、生活上のルールが守れること
- ・困ったことがあったときに助け合える
- ・公園での太極拳サークル、ゴミだし・清掃、町内会行事(夏祭り、運動会、神社の大祭)で交流
- ・日本で生活するなら日本語を十分理解し、マナーを守ってほしいです
- ・ごみ出しなどのルールを設定してもらうように、講習などを行う
- ・お互いの国を理解するための何らかの交流イベント
- ・義務教育の学校で日本語教師による専門的な日本語教育と親の日本語支援。日本人の親の理解を促せるような取り組みが必要だと考えます

・きちんと仕事をして税金を払い、生活の基盤を作っているかどうかなどが、わかれば良い。またテロの問題があるので、そういうことが全く関係ないとわかると良い

- ・お互いに言語の理解が、必要と思います。戦前の人間には話すことが不安です
- ・お互いの習慣や文化を理解し合うことが大切。まず言葉の壁を乗り越えてとりあえず関わることから始めると良いと思う。どこかにきっかけがあるといい
- ・いい人もいるかもしれないけど基本外国人はマナーが悪いイメージしかない
- ・最低限のマナーやルール！ゴミの分別は守ってもらいたいです
- ・いろいろな国の料理の屋台がでる、食のイベントとなど楽しめると思います
- ・外国の方が困った時に相談できる場所、施設が豊富にあることが大切だと思います
- ・お互いの文化の理解と尊重。しかし、ここは日本なので、日本をベースにしなければならぬ

- ・日本人は壁を作るような印象があり、相手からなかなか輪に入れない雰囲気があると思います。気軽に立ち寄れる場所があるといいと思います

- ・まず私たちの方が、外国人に対する様々な偏見をなくしていくことが必要だと思います。小学生の子どもが、クラスのいろいろな国のお友達と仲良く遊んだ話をしてくれます。子どもは大人に比べて、本当に偏見なく純粋に接することができるようです。大人もそれを見習って、積極的に交流できる場やイベントを開き、お互いの心が近づけたらいいと思います

- ・意見交換の場と、それを他の皆に伝える場所が必要だと思います
- ・外国人が外国人コミュニティでの生活ではなく地域に溶け込めるように
- ・郷にいれば郷に従え。外国人は日本のルールを守るべき
- ・お互いに迷惑をかけないように気をつけながら、個人の生活をしていけば良いと思
- ・話す機会があれば積極的に話す
- ・お互いが閉鎖的にならない事が必要だと思う。フードイベントなどで交流するのも良いのでは？美味しいものは皆を笑顔に思う
- ・特に日本人のマナーやルールをガイドブックのようなもので教えることも共に生活する上で必要だと思います

- ・お互いに最低限のマナー・ルールを守ることは当然で、その上で偏見をもたずに挨拶から始めることが必要と考えます(海外に長期間住んだ経験を持つものとして感
- ・国籍がどうこうより、隣近所の方と普通に接していくことで十分だと思います。

困っていれば手を貸すし、行事があれば参加を促していけばいいと思います

- ・安城市の取り組みは素晴らしいと感じました
- ・町内会や子共会に未加入のため、地域のルールや情報伝達ができない
- ・“外国人”という、偏見をなくすこと。
- ・文化の違いをわかりやすく解説した冊子が必要
- ・日本語の習得を助けるボランティアなど
- ・言葉の表記(多言語で)こちらも言葉の勉強をする
- ・一緒にご飯を食べる
- ・定期的に市民交流センターやデンパーク等でイベントなどあれば参加したい
- ・そもそも外国人と共に生活する必要性が分かりません
- ・お互いの文化の違いを理解し、願わくば日本文化の感覚を持って生活して欲しい
- ・地域で生活をするうえで、日本語がわかるという事はとても大事なことです。多様な地域・曜日・時間帯で日本語教室を開いてください。学校にも日本語指導な児童生徒が多数いますが、10人以上でないと日本語担当の教師が配置されず、子どもたちは必要な教育が受けられない状況にあります。日本語指導が必要な児童生徒が少人数しか在籍しない学校にも市独自で教員を配置してください

- ・その国の方たちが日本でも自国の食事を食べれるようなレストランが増えるといいと思う

- ・外国人住民への通訳サービスの充実
- ・英会話教室や日本語教室を増やす
- ・日本人向け、外国人向け(多言語)のトラブル時の電話、メールの相談窓口とその周知。日本人に対する多文化共生の教育

- ・ローマ字での案内
- ・外国人を雇用している企業等が本来雇用者のみならず家族までを手厚く面倒を見るべきであり、自治体はそのお手伝い程度にとどめるのがすじと思う
- ・生活するうえでのルールやマナーを、お互いに共有し守る
- ・どちらも言えないが、自然に交流出来れば良いと思います